

# 大町病院だより

第27号

2010年  
(平成22年)

12月25日

《病院理念》 私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

〒398-0002 長野県大町市大町3130 市立大町総合病院 電話 0261-22-0415



【日本DMAT隊員養成研修：関連記事8ページ】

## 目次

- P 2……………人間ドックのご案内
- P 3……………こんにちは！大町病院健診センターです
- P 4……………診療所情報、職員募集、古布収集のお礼
- P 5・6…病院でのできごと
- P 7……………復帰支援研修会、看護部救護活動
- P 8……………日本DMAT隊員養成研修に参加
- P 9……………登録医の紹介  
松林医院 松林 守司 先生
- P 10……………診療表

### 《病院理念》

私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

### 《基本方針》

- 1 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院づくりに努力します。
- 2 十分な説明を行ない、納得の得られる医療を提供します。
- 3 地域と連携のとれた病院を目指します。
- 4 思いやりのある、優れた職員を育てます。
- 5 健全で自立できる病院経営に努めます。

# 人間ドックのご案内

年に1回の健康診断を受けて、健康チェックと生活習慣の見直しをしませんか？  
大町病院では以下のメニューで皆様のお越しをお待ちしております。

人間ドックの種類	料金 (消費税込)	
一泊ドック	66,150円	健診結果により、生活指導・医師の指導を行います。 健診報告書は後日郵送にてお手元にとどきます。
日帰りドック	31,000円	

※社会保険の一般健診も随時お受けいたします (昼食サービス付)

## オプション検査 (大町病院のコースに追加できます)

【注意】 大町市の各種がん検診、特定健診、プレミアム健診等にはオプションは付けられません

No.	検査項目	検査内容	料金
1	腹部超音波検査	肝臓、胆嚢、腎臓に結石や腫瘍がないか超音波を当てて調べます。	5,570円
2	眼圧・眼底検査	眼底デジタルカメラで網膜血管の写真を撮り、高血圧・動脈硬化性変化を調べます。	2,070円
3	肺機能検査	息を強く吹く・吐くことで肺の動きを調べます。喫煙者にはお勧めです。	3,150円
4	肝炎ウイルス検査	B型・C型肝炎ウイルスを調べる血液検査です。	3,610円
5	腫瘍マーカーCEA・AFP・CA19-9	大腸・胃・肺・すい臓がんの腫瘍マーカーです。	3,800円
6	前立腺マーカー	前立腺肥大症や前立腺腫瘍を認めると数値が上昇します。50歳以上の男性にお勧めです。	3,520円
7	甲状腺ホルモン	甲状腺機能亢進・低下を血液検査で検査します。動悸・だるい症状がある方は御相談下さい。	3,950円
8	尿沈渣	尿潜血陽性の方にお勧めです。	1,040円
9	血圧脈波検査	動脈硬化の心配な方、血管年齢を調べたい方にお勧めです。	1,370円
10	乳房視触診	乳房の触診検査を行います。	1,050円
11	マンモグラフィー	乳房レントゲンを撮り、その結果とともに乳房触診検査を行います。	5,130円
12	子宮頸部細胞診	子宮頸部の細胞を取り、頸がん検査を行います。	3,530円
13	ピロリ菌血液抗体検査	血液検査によりピロリ菌感染の有無を調べます。	1,800円

◇上記のオプション検査は、受診されるコースによっては、含まれているものもありますので、ご確認ください。

◇コースに胃検査(カメラもしくはバリウム)が含まれる場合は、病院より昼食が出ます。

◇当日の朝は8時30分までに受付をしていただき、昼食後の医師の診察は午後2時過ぎになる場合があります。

◇ラウンジにはコーヒーお茶、新聞、雑誌、テレビの用意がありますので、どうぞゆっくりお過ごしください。



### 一泊ドックがリニューアル!!

くろよんロイヤルホテルの  
宿泊・夕食・岩盤浴がついて  
同一料金

**66,150円!!**

ぜひご利用ください (\*\_\*)

### 【お申込み・問い合わせ】

市立大町総合病院 健診センター  
電話0261-22-0415(代)  
内線2359



### まだまだできます☆がん検診!

がん検診を申し込みされた市民の方々に対して、4月に受診券の葉書をお送りしていますが、まだ、がん検診の予約をされていない方は、**3月まで**予約を受け付けています。お早めに予約をお願いします。

### 「最近のがん治療」について一言...

- ＊胃がん、大腸がん ↓
  - ・内視鏡下粘膜切除術（おなかを切らずに済む）
  - ・腹腔鏡下手術（小さな傷で術後の回復も早い）
  - ＊乳がん ↓ 部分切除と放射線照射を合わせた・乳房温存療法 などがあります。
- がんは、予防と、早期発見が大事です！

大町病院健診センターでは、がん検診の予約を受け付けています。

### ☆予約のお電話☆

大町病院健診センター

電話 22・0415

内線 2359 へ

### ■当院で実施した21年度がん検診結果

検診名	受診人数	がん人数	備考
大腸がん検査	2690名	2名	内視鏡切徐 腹腔鏡手術 1 1
胃内視鏡検査	1689名	4名	内視鏡切徐 開腹手術 2 2
肺 C T 検査	173名	2名	胸腔鏡手術 2
前立腺がん検査	344名	2名	手術 薬物療法 1 1
子宮がん検査	512名	1名	開腹手術 1
乳房がん検査	682名	0名	

### フシミア健診 空きあります!

4月に申し込まれて、まだお受けになっていない方、**2月、3月**の空きがありますので、是非お受け下さい。半日で、がん検診と特定健診が受けられる、お値段もお得な健診です。

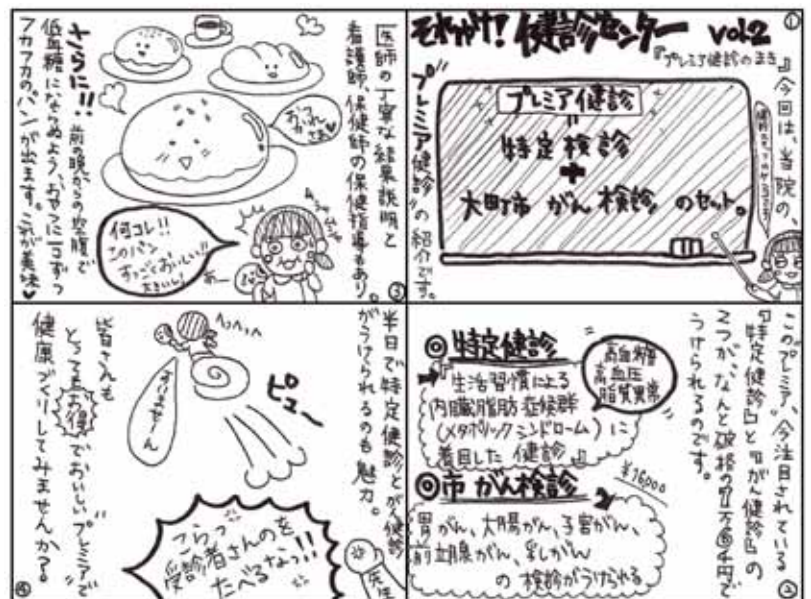
予約のお電話は、健診センターまでお願いします。

大町病院健診センターは、地域の皆さんの健康維持のお手伝いができますように日々努力しております。これからも宜しくお願いいたします。

### 特定健診、まだ受けられます!

大町病院では、個別特定健診を実施しています。2時間ほどで健診、血液検査、診察、保健指導までが終了し、その日のうちに検査結果を聞いて帰ることができます。来年の**3月**まで受けることができます。申し込まれて、まだお受けになっていない方は、是非お受け下さい。

予約のお電話は上記へお願いします





# 診療所情報

大町市の美麻地区と八坂地区にはそれぞれ診療所があります。今回から八坂診療所と美麻診療所の情報をお知らせするコーナーを設けました。両診療所の様々な情報等を掲載していきます。

第一回目は、八坂診療所の戸部道夫先生のあいさつです。

## あいさつ

今回から「大町病院だより」の紙面をお借りして、八坂診療所と美麻診療所の情報を市民の皆様にお知らせするようになることができました。このような機会をいただき、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

現在、大町市には公的医療機関として、大町総合病院のほか、八坂および美麻の両診療所がありますが、両診療所は山間地に偏在するためか、市民の皆様にはなじみが無い方も多いことと思います。これを機会に両診療所の現況を少しでもご理解いただき、大町病院との病診連携が深まることを期待したいと思

◇八坂診療所 【電話】 26・2814  
◇美麻診療所 【電話】 29・2015

ます。医師をはじめ、医療従事者同士の交流や医療情報の合理化・診療モデルの形成なども病診連携の質を高まる上で重要な点ですが、残念ながら合併から現在まで実現には至っておりません。このような今後の課題の解決への第一歩になるようにと期待を寄せております。

市民の皆様にご満足していただける医療を提供したいという思いは、診療所といえども決して小さいものではありません。次回からは、診療所の規模・内容などにつきましてお話ししていただき、地域医療をご理解いただけたらと思っております。どうぞよろしく願っています。

八坂診療所 戸部 道夫

## 看護職員随時募集

大町病院では看護職員を随時募集しています。

- 職種 看護師・助産師・保健師・准看護師
- 受付 随時
- ※応募時に満55歳未満で資格のある方  
(准看護師は50歳未満)
- ※募集要項・申込用紙は事務部庶務課庶務係にあります。(病院ホームページからもダウンロードできます。)
- 問い合わせ 看護部長または庶務課庶務係
- ※詳細はお問い合わせください。

## 古布収集のお礼と今後のお願い

前号の大町病院だよりにてお尻拭き等に使用する古布収集についてお願いしたところ、大変多くのおみなさまに古布をお譲りいただきました。お礼申し上げます。ありがたく使わせていただいています。

大町病院では常時布切りボランティアの活動がありますので、不要な古布がありましたら今後もお譲りください。

引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

- 問い合わせ 看護部長または庶務課庶務係

## 総合防災訓練を実施しました



10月8日(金)に総合防災訓練を行いました。

当地域北部に震度6以上の地震の発生を想定。通報、初期消火、避難誘導等の訓練を行いました。



## 大町ICLSコースを開催しました！

当院で第3回目となるICLSコースを11月6日(土)に開催しました。2年ぶりに開催できたことを嬉しく思います。大北地区中心の医師、看護師、臨床工学士、救急救命士の20名が受講されました。受講生からは「近くで受講できるのが嬉しい、救急蘇生について抵抗がなくなった、チーム医療・チーム蘇生の難しさや大切さを学んだ、ICLSを極めたい、ICLSを広めたい…」という感想や決意が聞かれました。この研修への関心・満足度の高さを感じました。

コース開催にあたっては、資機材を必要数準備し、要件を満たした人材と日本救急医学会の認定を受けることが必要です。今回も県内あちこちの施設からインストラクターのみなさまにご協力をいただき、質の高い研修を行うことができました。

外来看護師長 降旗いずみ



## 市民ふれあい広場



▲木畑医師の大道芸

「開かれた病院づくり」の一環として、10月9日(土)に大町市文化会館前広場で開催された「市民ふれあい広場」に参加しました。

今年は、骨密度・動脈硬化などの無料測定の他に、エコー、医師によるミニ講演、各種相談コーナーなど、例年よりブースを拡大しました。順番待ちの列ができるほど、多くの方々にご来場いただきましてありがとうございました。



▲薬剤指導



▲骨密度検査



▲ミニ講座



▲ミニ健診



▲血糖測定



▲感染予防

## PR活動



11月24日(水)～26日(金)に看護師確保に向けた呼びかけを行いました。

24日に信濃大町駅、25日に白馬駅、26日に南豊科駅で実施。「看護師を目指してみませんか?」と看護師と事務職員が登校する高校生を中心に声を掛け、チラシを配布しました。



▲11月25日(木)白馬駅



▲11月26日(金)南豊科駅



## 復帰支援研修会を開催して

復帰支援研修会は、長野県ナースセンターが主催し、看護職等の求人・求職をよりスムーズにし、看護の現場をさらに充実させていくために実施されています。2008年より当院も復帰支援研修会を開催しています。あくまでも「就業支援のための研修会開催」ということであり、「自施設の職員募集・採用活動ではないこと」とされています。

しかし、地域の病院施設が少ないということもあり、当院で受講をされる方は「ここで働けるかどうか」を模索しながら受講されているように感じます。

毎年5～6名の受講者があり、そこから当院で働いてくださる方も出ています。研修会をきっかけに、病院の雰囲気慣れる、病院スタッフに慣れる、病院風土を感じ取るなどの体験をされ、ここで働くことを選んでくれているように思います。

また、一時保育の助成があることで、より参加しやすく、4日間の研修期間中お子さんと離れる体験が復帰を考える良い機会となります。

潜在看護師の方々の背景は様々で、ブランクの長さや以前の経験の内容、離職にいたるまでの経緯も一様ではありません。その反面、中途採用になった方の就業先では、経験者・即戦力とみなされ、十分な支援体制がないこと、職場風土に慣れないことなどが再離職を招くとされています。また、一律な採用規定も潜在看護師にとって高いハードルとなるようです。



当院の復帰支援研修会では多くの病院スタッフに関わっていただき、潜在看護師の特性を理解していただくこと、病院全体で迎え入れている雰囲気にする、再就職した職員の経験を語ってもらうこと、研修内容は講義だけでなく実技を多く取り入れることなどの工夫をしています。

今年は看護師コースだけでなく、助産師コースも開催でき3名の参加がありました。昨年度、長野県下全体の復帰支援研修助産師コースの参加数が3名でしたので大きな成果だと思います。

参加者全員から良い評価がありました。来年も計画いたします。

復帰支援トレーナー

平林秀子（4階東病棟副看護師長）



## 看護部救護活動

大町病院看護部では、イベントなどの救護派遣要請を受け看護師を派遣しています。本年の救護派遣は、塩の道祭り、針の木岳慎太郎祭、やまびこ祭り、木崎湖花火大会、市民登山など15件、18日間で延べ22名の看護師を派遣しました。

今回は、市民登山に参加した池田看護師の参加報告です。

### ◇大町市民登山の救護◇

今年はなんと第60回目という鹿島槍～爺ヶ岳の一泊二日（8月28日～29日）の市民登山の救護として同行させていただきました。参加者・スタッフ含め32名のパーティーでしたが、大きな怪我や急病もなく、無事全員登頂成功し下山することができました。お天気にも恵まれ素晴らしい登山に参加させていただき、また、市民の皆さんの圧倒されるパワーに救護という仕事を忘れるくらいでした。また機会があればぜひ参加したい、思い出深い行事でした。



4階東病棟看護師 池田深子

# 日本DMAT 隊員養成研修

—— 自衛隊航空機を使った広域医療搬送実機研修に参加 ——

事務部庶務課 黒岩 徹

11月29日(月)、大町病院DMATは、航空自衛隊小牧基地で開催された、自衛隊実機訓練に参加しました。DMATとは、大規模災害などの現場で急性期(概ね発生から48時間以内)の医療活動を目的とし、阪神・淡路大震災をきっかけに発足しました。阪神・淡路大震災では、平常レベルの救急医療が提供されていれば救命できたと考えられる、「避けられた災害死」が500人は存在したと、後の調査で報告されています。この教訓を生かし、大規模災害等における、「避けられた災害死」を1人でも少なくするため、専門的な訓練を受けた医療チームです。大町病院は災害拠点病院の役割として2チームが養成研修を終えて、出動できる態勢を整えています。

今回参加した自衛隊実機訓練は、大規模災害が発生したときに、重症患者を航空機で被災地外へ搬送し、被災地外で高度な救急医療を受けられるようにする一連の活動のなかで、自衛隊機内や、空港での活動を自衛隊員の方と連携して訓練しました。



今回の訓練では、東は福島県から西は大阪府まで、12病院から50人の隊員が参加し、実際に災害が発生したときに重症患者を自衛隊機で搬送する手順を、実際の機体を用いて訓練しました。今回使用した機体はC-130という輸送機で、一度に8人の重症患者を搬送できます。(大型の輸送機で戦車も運べます。) 隊員養成訓練では知識として一連の活動を習得しますが、自衛隊機を使用して訓練を行うことで、自衛隊員の方とどのように連携を図り活動するか、また、活動する環境がどのようなものかを実体験として習得することができました。また、自衛隊機を地上で滑走させることで、実際の機内環境を体験させていただきましたが、エンジン音で口頭でのコミュニケーションが図れないことや、患者の容体変化に対して、機内の揺れや稼働スペースの狭さ、医療機材の使用に制限が生じるなど、実際の活動における課題を実感しました。

今後も大町病院DMATは、このような訓練参加や研修などを積み重ね、実際の災害発生時には1人でも多くの命を救えるように、大北地域の災害拠点病院の一員として努力を続けていきます。





# 登録医の紹介

登録医とは、患者に対して一貫性のある医療を提供できるように協力体制をとっていただける地域の先生方です。

## 松林 医院

今号のシリーズ「登録医紹介」では、登録医No.8 松林 守司 先生（松林医院）を訪問取材してまいりました。終始笑顔でお話になる先生に、小さい頃から診察してもらっている当院職員も「なるほど」と感心しきりのインタビューでした。優しい瞳から先生のお人柄を感じられる時間でした。（聞き手・地域医療福祉連携室 高橋）



—先生のご出身は？

出身は松本市蟻ヶ崎です。子供時代は岡谷で過ごし、その後、終戦の年に松本に戻りました。父親は会社員でしたので私が医院の初代です。

病気を研究する

—医師を志したキッカケは？

もともとは長野工業専門学校に通っていて機械いじりが好きでした。懐中時計や腕時計、ラジオなんかを修理しては小遣いを稼いでいましたよ（笑）。父が病弱であったので、病気を研究する志を抱くようになりました。

心の壁を置かない

—診察で大切にされていることは？

内科医は患者さんと会話して、その中から診察を進めて診断していくことが大切なんです。だから患者さんとの間



に壁をもちたくない。コミュニケーションを大切にしたい。

実はそのために、患者さん側の椅子を自分より高くする工夫をしています。自分が患者さんを見上げる位置にいることで気安く話したり、スキンシップができる関係になるんですよ。

あと、身支度も白衣のもつ壁みたいなものを無くすような身なりの工夫もしています。子供が診察しても泣かないように、壁を置かないように、患者が話しやすいように、診察に緊張しないように心がけています。

—先生のご趣味は？

趣味は機械いじりです。ただ今今は忙しくてなかなか時間がつくれません。アマチュア無線や、お茶を点てることも好きです。車のカーナビを使って知らない土地を飛び回ったりしていましたが、それも最近は忙しくてできませんね。

あっちこっち突っ込み往診

往診に行くにもカーナビがとっても便利なんですよ

（笑）。患者さん宅までピンポイントで行ける。それに比べて昔は小川村まで往診に行っていた頃なんかは、雪深いので車であっち突っ込み、こっち突っ込みと繰り返し往診をしていましたよ（笑）。

昔は看取りをするための往診が多かったなあ。

病診連携がしっかりしてきた

—大町病院に一言

病診連携を連携室が病院と診療所の間に入ってよく調整してくれています。施設の囁託医をしているので土曜日や深夜早朝などの受入れをしてもらい助かっています。

【松林守司先生プロフィール】

昭和4年松本市生まれ。昭和30年信州大学医学部医学科を卒業。昭和34年同大学文部教官（医学部助手）。松本市内での校医や同大学の研究生を経て、昭和37年に厚生連信州新町病院副院長、昭和43年に諏訪湖畔病院内科部長、昭和44年に厚生連安曇総合病院副院長を歴任され昭和48年退職。同年7月より大町市内の現住所地に開業され現在に至る。

所在地

大町市大町4287-3

電話

0261-22-5800

診療科目

内科、小児科、放射線科

診療時間

・9:00~11:45 (月~土)  
・14:00~17:30 (月~金)

休診日

日曜日、祝日、土曜日午後



## 形成外科の診療日が変わります

1・3・5週の火曜日に開設していた「形成外科」の外來診療ですが、1月から毎週火曜日に変更になります。まだ十分な体制とは言えませんが可能な限りご要望にお応えできるよう努めてまいります。

- 診療日…毎週火曜日
- 診療時間…14:00 から (受付 16:00 まで)

## 外來診療表

平成23年1月1日現在

総合診療		受付時間 8:00~16:30 (月・木曜日の内科は 16:00 まで)					
診察室 (診療時間)		月	火	水	木	金	土
内科 (終日)		(中澤 勇一)			(中澤 勇一)		
外科 (14:00~)			山本 浩二	飯沼 伸佳		高木 哲	

一般外來		受付時間 8:00~11:30 (土曜日は 10:30 まで) ※ ( ) は信大からの派遣医師です。						
		月	火	水	木	金	土	
内科 ※午後は予約のみ	1 診	午前	山田 博美 (循環器)	赤羽賢浩 (肝臓)	新津 義文 (腎臓・血液・感染症)	(信 大) (呼吸器)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	(漆畑一寿) (呼吸器)
		午後						
	2 診	午前	木畑 穰 (消化器)	林田 美江 (呼吸器)	百瀬 邦夫 (一般内科)	吉田憲司 (消化器)	(小林信光) (呼吸器)	
		午後	百瀬邦夫 (一般内科)			赤羽賢浩 (肝臓)		
	3 診	午前	新津 義文 (腎臓・血液・感染症)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	山田 博美 (循環器)	(小口泰尚) (循環器)	鈴木 敏郎 (呼吸器)	
		午後						
	4 診	午前	総合診療	吉田憲司 (消化器)	鈴木 敏郎 (呼吸器)	総合診療	林田 美江 (呼吸器)	
		午後						
	5 診	午前	(小林隆洋) (循環器)	後藤紀史 (循環器)	木畑 穰 (消化器)	後藤紀史 (循環器)	(南澤綾子) (循環器)	
		午後					木畑 穰 (消化器)	
禁煙外來 [受付]14:00 まで				鈴木 敏郎 [診察]13:00~15:00				
漢方外來 [受付]15:30 まで					藤巻 達男 [診察]14:00~			
小児科	午前	北村 真友	遠藤 優子	北村 真友	遠藤 優子	(小林 法元)	大嶽 富夫	
	午後【予約制】	腎臓・血液など慢性疾患外來	乳児健診、発育外來、循環器外來	神経外來	(第2・4週) 予防接種			
外科	一般外來	高木 哲	山本 浩二	高木 哲	山本 浩二	飯沼 伸佳	(信 大)	
		山本 浩二	飯沼 伸佳	飯沼 伸佳		高木 哲		
	乳腺外來 [受付]10:00 まで					小池 綏男		
	心臓・血管外來 [受付]16:00 まで					(信 大) [診察]14:00~		
整形外科		下川 寛一	鎌倉 貞夫	伊藤 仁	鎌倉 貞夫	伊藤 仁 (2・4・5 週) 藤澤多佳子 (1・3 週)	鎌倉 貞夫	
		伊藤 仁						
脳神経外科					(伊東 清志)			
皮膚科		松本 祥代	松本 祥代	松本 祥代	(中藤 奈美)	松本 祥代	松本 祥代	
				子供/専門外來 [診察]14:30~ (受付は15:00 まで)				
泌尿器科		井上 善博	柳沢 温	中藤 亮	井上 善博	中藤 亮	井上 (第2週) 中藤 (第4週)	
産婦人科		深松 義人	原 きく江	(大平 哲史)	深松 義人	原 きく江	(信 大)	
眼科【完全予約制】		(山本 裕香)		(千葉 大)		(黒川 徹)	(山本 裕香)	
耳鼻咽喉科 [水曜受付]15:30 まで				(信 大) [診察]14:00~			(信 大)	
形成外科 [受付]16:00 まで			(伴 碧) [診察]14:00~					

※眼科外來は紹介状をお持ちの方のみ事前予約が可能となっています。詳しくは眼科外來までお電話ください。

※ドック・特定健診等は健診センターまでお問い合わせください。

※診察券 (プラスチックカード) は全科共通です。保険証と共に忘れずにお持ちください。

※再来受付機は、保険証を3ヶ月以上提示いただかないと利用できなくなります。(1番総合窓口にお越しください)